

拒絶理由通知書

Office Action

特許出願の番号	特願2001-232649
起案日	平成15年 3月 6日
特許庁審査官	藤原 浩子 9155 4V00
特許出願人代理人	細田 芳徳 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(理由1)

請求項1～3, 5～9 引用例1～4

・備考

引用例1～4には、アクリル酸系重合体、炭酸ナトリウム及び硫酸ナトリウムを含む調製液の、特定の測定条件での光散乱測定における最大値の半値に減衰する大粒径側の粒径と800nmを超える粒径を持つ粒子の比率については記載されていないものの、本願発明と引用例1～4に記載されたものとは、アクリル酸系重合体の分子量と最終的な洗剤粒子の物性が重複しているものと認められるので、両者は実質的に同一であるといえる。

(理由2)

請求項1～9 引用例1～6

・備考

レドックス開始系を用いて製造された、分子量分布が狭く、着色の原因となる不純物が少ないアクリル酸系重合体が、洗剤ビルダーとして好適であり洗浄力の高い洗浄剤が得られることは公知である（引用例5～6）。

したがって、引用例1～4のアクリル酸系重合体として、かかる公知のものを採用してみることは、当業者が容易に想到し得たものといえる。

そして、本願発明において、分子量分布が狭いアクリル酸系重合体を用いたことによる効果は、当該アクリル酸系重合体自体が有する効果から、当業者が予測可能な範囲内のものである。

引用文献等一覧

1. 特開昭62-112697号公報 → イスト
2. 特開昭63-282371号公報
3. 国際公開第00/039265号パンフレット
4. 特開2000-186300号公報
5. 特開昭62-121705号公報
6. 特開平11-035989号公報

補正する際には、新規事項の追加とならないように留意し、補正の根拠となる出願当初明細書又は図面に記載されたどの事項から直接的かつ一義的に導き出されるのかを説明されたい。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第7版 C11D1/00-17/08

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせのご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第3部 応用有機材料 藤原 浩子

TEL. 03(3581)1101 内線3483 FAX. 03-3501-0698